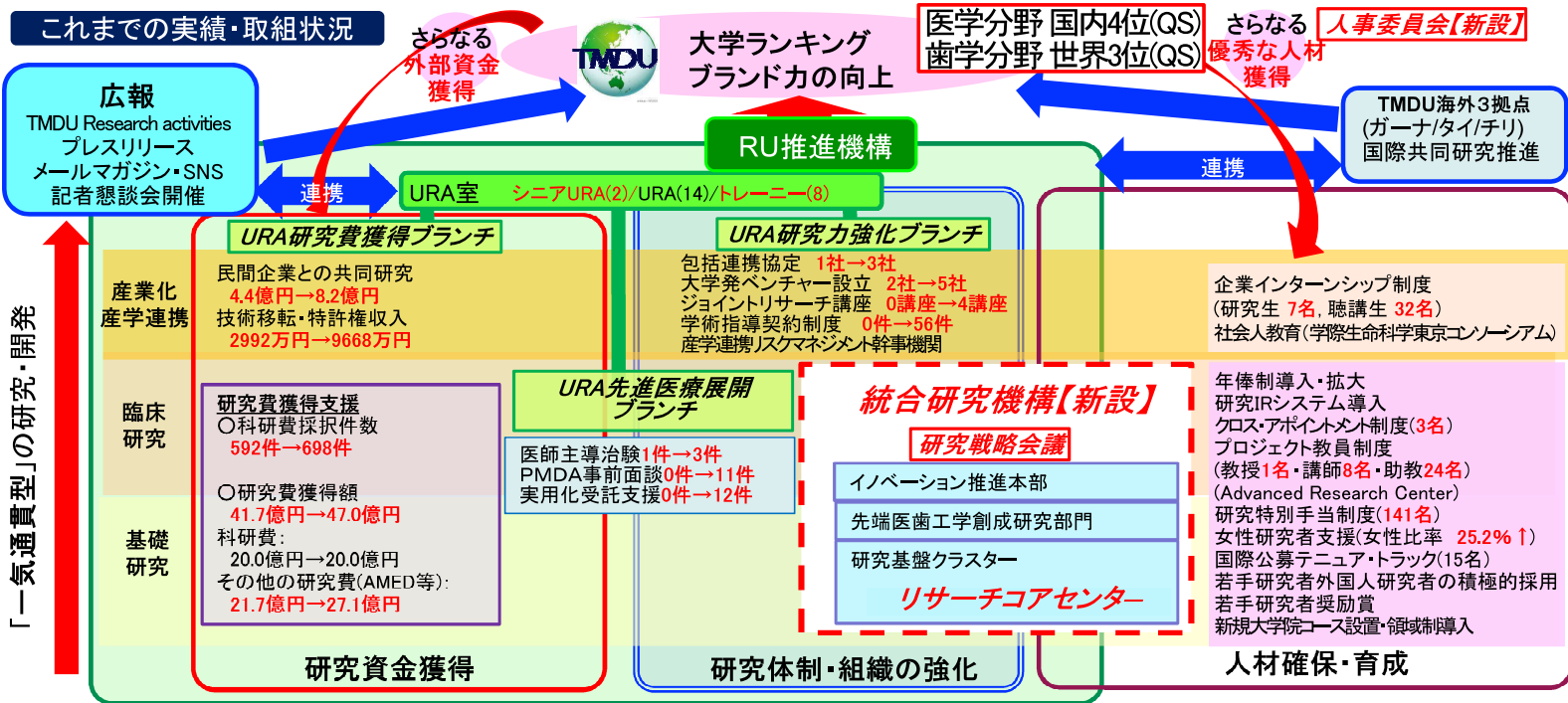


「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 東京医科歯科大学

目的

本学は、医療系総合大学として、「知と癒しの匠を創造する」を基本理念とし、1)人類の健康と福祉に貢献するため、切磋琢磨し**国際的に先端の基礎研究・臨床研究を展開するための研究拠点を形成**し、生命科学や疾患に関する新しい知の創造を行う。2)患者のQOL向上のため、得られた知を**産学連携活動を通して、新しい医療技術や治療法の開発など実用化を推進**する。3)これらの活動を通して、**若手研究者、女性研究者の育成**を行う。

これまでの実績・取組状況



※数値の推移はH25→H28

今後の課題と展望

RU機構・URA室が主導する研究戦略策定・評価システム及び産業化を出口とする「一気通貫型」の研究開発体制を維持・発展させ、①学長の強いリーダーシップによる戦略策定・IR機能の飛躍的向上を強化・実現する「統合研究機構」の運営と機能拡充、②情報理工学と生命科学・医療を融合した本学独自の学際領域(IT-メディカルサイエンス)の創出と国際的リーダーとなる研究人材の育成、③「先端医歯工学創成研究部門」の設置による最重点領域への資源・支援の集中と研究の加速、④「次世代研究者育成ユニット」の創設と女性研究者支援・プロジェクト雇用制度の拡充による世界トップレベルの次世代研究者育成システム構築を実施する。

中間評価結果

評点区分: A

全体に対する所見

URA 機構を革新的に進めるなど、URA 制度を軸とした大学の活性化に努めるなど、順調に進捗している。医療系大学として「医療系 URA」の在り方について、他大学へのモデルとなるシステムの確立が期待される。

当初構想・計画の進捗状況に対する所見

URA 制度の構築が順調に進捗しており、研究力強化に向けた大学の強み、弱みを分析し、対策を図るなど改革意欲を持って取り組まれている。若手教員、女性教員、外国人教員の増に一層の努力を期待する。

今後5年間の将来構想に対する所見

補助事業終了後の URA の人材戦略が、主に財政面から明確となっておらず、安定化が望まれる。医療系 URA の雇用、人材流動、スキル強化に向けて、全国のハブとなる取組を期待したい。